

＜ご家庭でできる耳の聞こえと発達のチェックリスト＞

赤ちゃんは1才前でも、色々な音を聞いたり、声を出したりして、話し始めるための準備をしています。ことばの発達の上で、とても大切な時期です。きこえの障害を早く発見して早く対応することで、ことばの発達を助け、遅れを少しでも減らすことができます。出産後すぐに、きこえの障害が無いかどうかのスクリーニング検査をしますが、これをパスした場合でも、中耳炎やおたふくかぜによって、後からきこえの障害が起こることもありますので、一旦「pass(合格)」しても、お子さまのきこえに注意を向ける必要があります。

月齢時期にできる項目を確認してみましょう。各月齢でチェックした項目が半分以下ならかかりつけ医（小児科、耳鼻咽喉科）や保健センターにご相談ください。



月 齢	チ ャ ッ ク 項 目
3か月頃	<input type="checkbox"/> 1 大きな音に驚く <input type="checkbox"/> 2 大きな音で目を覚ます <input type="checkbox"/> 3 音がする方を向く <input type="checkbox"/> 4 泣いている時に声をかけると泣きやむ <input type="checkbox"/> 5 あやすと笑う <input type="checkbox"/> 6 話しかけると「アー」「ウー」などと声を出す
6か月頃	<input type="checkbox"/> 1 音がする方を向く <input type="checkbox"/> 2 音が出るおもちゃを好む <input type="checkbox"/> 3 両親など、よく知っている人の声を聞き分ける <input type="checkbox"/> 4 声を出して笑う <input type="checkbox"/> 5 「キャッキャッ」と声を出してよろこぶ <input type="checkbox"/> 6 人に向かって声を出す
9か月頃	<input type="checkbox"/> 1 名前をよぶと振り向く <input type="checkbox"/> 2 「いないないばあー」の遊びをよろこぶ <input type="checkbox"/> 3 叱った声「ダメッ!」「コラッ!」などと言うと手を引っ込めたり、泣き出したりする <input type="checkbox"/> 4 おもちゃに向かって声をだす <input type="checkbox"/> 5 「マ」「パ」「バ」などの音を出す <input type="checkbox"/> 6 「チャ」「ダダ」などの音を出す
12か月頃	<input type="checkbox"/> 1 「ちょうだい」「ねんね」「いらっしやい」などのことばを理解する <input type="checkbox"/> 2 「バイバイ」のことばに反応する <input type="checkbox"/> 3 大人のことばをまねようとする <input type="checkbox"/> 4 意味のあることばではないが、さかんにおしゃべりする <input type="checkbox"/> 5 意味があることばを1つか2つ言える （食べ物のことを「マンマ」、おかあさんを「ママ」など） <input type="checkbox"/> 6 単語の一部をまねして言う
1歳6か月頃	<input type="checkbox"/> 1 絵本を読んでもらいたがる <input type="checkbox"/> 2 絵本を見て知っているものを指す <input type="checkbox"/> 3 簡単ないつけがわかる （「その本を取って」「このゴミを捨てて」など） <input type="checkbox"/> 4 意味があることばを1つか2つ言える <input type="checkbox"/> 5 意味があることばを3つ以上言える <input type="checkbox"/> 6 絵本を見て知っているものの名前を言う

出典：「愛知県における新生児聴覚スクリーニングの手引き 2019年改定版」

岩倉市保健センター TEL 37-3511